

「伊崎田小学校の伊崎田相撲伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立伊崎田小学校

2 学年・人数

全校児童 78名

3 場所・日時

(1) 練習の場所・日時

平成27年10月10日 校内相撲教室 伊崎田小学校相撲場

(2) 発表の場所・日時

平成27年10月18日 第107回伊崎田相撲大会 伊崎田小学校相撲場

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

伊崎田相撲（いさきだすもう）

(2) 由来

伊崎田相撲は、昭和41年に発布された戊申詔書 of 精神に沿い、その翌年から在郷軍人らを中心に始められた。以来、第二次世界大戦中の1～2年をのぞき、絶えることなく伝統行事として続けられてきた。現在は、五穀豊穰・家内安全・地域の融和親睦が目的である。

(3) 構成等

ア 校内相撲教室

- ・ 地域の方を講師に、全校児童を対象に相撲教室を開催し、相撲のルールやマナーについて学習を行う。

イ 伊崎田相撲大会

- ・ 小学生は全校児童が相撲の取組を行う。
- ・ 中学生は全学年男子が相撲の取組を行う。女子は化粧まわしを作成する。
- ・ 希望する赤ちゃんが土俵入りをを行う。
- ・ 一般の方が相撲の取組を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

- ・ 管理職による伊崎田相撲実行委員会への出席と打合せ
- ・ 創意や総合的な学習の時間の相撲教室の開催と講師（地域の伊崎田相撲経験者）の招へい
- ・ 本年度は「しぶしの日」に関連して、4月27日の全校朝会に伊崎田相撲に60年以上関わっておられる地域の方を招いて、伊崎田相撲の歴史などについて講話をしていただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- ・ 校区の方に指導していただき、相撲教室を開催している。
- ・ 伊崎田相撲当日は、まわしの締め方等校区の方に指導していただき、相撲の取組を行っている。

- ・ 「しぶしの日」に講師を招いて、校区の伝統的な行事について全校児童が学ぶ機会とした。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等の写真）



（相撲教室の様子）



（伊崎田相撲の様子）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想

【児童】

- ・ 107回も続いていることがすごいことだし、自分たちもそれを続けることができ嬉しい。
- ・ 今年はたくさんの人たちが応援してくれて楽しかった。
- ・ 練習では負けたけど、本番で勝つことができよかった。

【保護者】

- ・ 学年に応じて、それぞれの力に応じた相撲をとっていて、とてもおもしろい。
- ・ 107回という伊崎田相撲に誇りを感じる。いつまでも続けてほしい。
- ・ 負けても何回か相撲をとることができるので、見ているほうはとてもよかった。

【保存会】

- ・ 伝統ある大会なので守り継いでいきたい。
- ・ 赤ちゃん土俵入りの参加者も多く、活気があった。
- ・ 多くの人が見に来てくれるので嬉しく思う。

【教員】

- ・ 児童にとって貴重な体験であり、今後も大切にしていきたい。
- ・ 伝統ある行事が続いていることは素晴らしい。学校としても関わりを続けていきたい。